



【食文化】

■地域の自然で育まれた食材
 ◎球磨川の急流で育ち引き締まった鮎→鮎料理
 ◎人吉盆地の冬の寒暖差や秋の霧が発酵や貯蔵に良く、球磨川の良質な軟水が米の甘味を育てる→球磨焼酎

■独自のメニュー発祥までの歴史やストーリー
 ◎平家の落武者の保存食から生まれた→豆腐の味噌漬
 ◎病弱な細川忠利公の為作られた/細川家の家紋に類似→辛子蓮根

■時代背景から生まれた食
 ◎満州からの引揚者が朝鮮冷麺をアレンジ→別府冷麺
 ◎米が不足していた時代の庶民の主食→だんご汁
 ◎高価だったレストラン料理を安価な鶏肉で提供→とり天

■地域の自然や資源を生かした調理法
 ◎温泉の蒸気で野菜や肉等を蒸し上げる→地獄蒸し
 ◎別府湾でとれる良質なシラスと天日干し→豊後ちりめん

【伝統・歴史・文化】

■歴史遺産のストーリー提供による理解の深化
 ◎古墳時代後期の装飾古墳→鬼ノ岩屋古墳
 ◎日本最初期の環濠集落/水稻耕作遺跡→板付遺跡
 ◎古代日本(九州)の海上交易の出発点として、歴史的に重要な位置を占める→志賀島*金印「漢委奴国王」の発見
 ◎福岡藩黒田氏が築いた城と城下町→福岡城址

■伝統・文化継承の発信
 ◎温泉客が蒸気を利用した地獄窯で自炊しながら長逗留する→湯治文化
 ◎500年前には存在した九州三大祭りの一つ→八代神社「妙見祭」
 ◎民衆の手で守られた地域遺産と仏教美術→相良三十三観音巡り

■信仰からみる日本文化の体験
 ◎平安時代から続く9日間もわたる神事(10月)→青井阿蘇神社 例大祭「おくんち祭り」

【産業文化】

■イベント開催による地域の魅力の発信及び体験機会の創出
 ◎別府八湯温泉泊覧会(春/秋 開催)
 *別府各所の温泉、場所、人が連携して回遊性を高め、100以上の体験プログラムで観光客の長期滞在者やリピーターを増やす仕組み

◎別府アルゲリッチ音楽祭
 *地域の人々と創る手作りの音楽祭。国内外へ拠点を設け、音楽祭を通じて国際交流の促進と別府・大分県域拠点の土地の魅力を発信

◎博多どんたく港まつり
 *「博多松ばやし」を起源とする830年余りの伝統行事から市民の祭りへと発展。毎年200万人以上が集まる国内最大級の祭り。イブ・初日の友好どんたく隊や留学生が参加するなど国際交流も盛ん。

■地域の伝統工芸や特産物の高価値化による日本文化の発信と提供
 ◎別府竹細工(*竹細工に漆塗りをした藍胎漆器など)
 別府の良質なシラスで茶碗籠を作ったのが始まり。湯治客土産で広まる

◎宮地手すき和紙(約400年前から八女市で作られる和紙)
 豊かな水に恵まれた土地であったことから盛んに作られるようになった現在は模様入りやカラフルな色付けなどで新たな付加価値付けに取り組む

◎博多あまおう(いちご)
 世界最重量のいちごとしてギネスに認定。香港をはじめとして輸出され、海外でも人気。

【自然資源・自然景観】

■自然資源の観光資源化
 ◎別府温泉郷(別府八湯/地獄めぐり)
 *地球上の泉質11種内10種が存在
 ◎明礬温泉へびん湯(原生林の中の温泉) ◎竹瓦温泉(砂湯)
 ◎別府海浜砂場(砂蒸し)
 ◎球磨川
 (球磨川下りで四季と自然を堪能/急流球磨川のラフティング)
 ◎鍾乳洞「球泉洞」(九州最大の鍾乳洞/約3億年前の石灰岩層)
 ◎神瀬石灰洞窟(熊野座神社が入口に鎮座)

■自然景観のブランド化
 ◎由布岳(豊後富士)*ブロッケン現象
 ◎鶴見岳(ミヤマキリシマ/紅葉/霧氷)
 ◎由布川溪谷(火砕流の浸食/東洋のチロリ)
 ◎志高湖(由布岳/鶴見岳を望む)・神楽女湖(花菖蒲/カワセミ)
 ◎十字原(国東半島~四国まで見渡せる高原)
 ◎不知火と水島からの夕日・能古島(桜/菜の花/コスモス/水仙)
 ◎生の松原(今津湾岸の浜にある美しい松原/能古島の目前)

【ホスピタリティ文化】

“自分達と同じ体験をしてもらいたい”という心情

●自然の恵みを皆で分かち合う → 共有・共生意識
 ●食・歴史文化・情報の提供 → 文化の体験・理解
 ●多様性を認め受け入れる → 相手側の立場に立つおもてなし

「地域資源(自然等)」「地域資本(人)」を磨き、価値を作り提供する

【都市文化・インフラ】

■アニメ・漫画からの観光コンテンツへの波及効果
 ◎聖地巡礼(人吉市/球磨地方)
 →アニメ「夏目友人帳」で描かれてる人吉の神社・橋などの風景をリアルに体験しながら巡る(※人吉アニメツーリズム)旅が人気
 令和2年7月九州豪雨災害により失われてしまった風景もアニメの中に残ることから、同アニメファンからは『復興支援に協力したい』との思いで訪問をする人も多い。

■デパート・小売り・商店街との連携による満足度向上
 ■インフラの整備と付加価値による観光資源化
 *肥薩おれんじ鉄道 観光列車「おれんじ食堂」
 *くま川鉄道 観光列車「田園ソファ」と鉄道の御朱印帳版「鉄印帳」

【姉妹・友好・国際交流都市】

■姉妹都市・友好都市締結によるメリット
 ◎文化交流が活発化(展覧会・各種公演の開催等)
 ◎交換留学・教員派遣等を通してのグローバル教育の促進
 ◎企業の海外進出の申請のスムーズ化

◆主な姉妹都市
 ・別府市×バース市(イギリス)・福岡市×オークランド市(米国)
 ・人吉市×アブランテス市(ポルトガル) など

【学術・教育】

■国際交流・異文化交流による人材育成および地域開発と意識改革
 ◎立命館アジア太平洋大学(APU)
 *全学生に占める国際学生の割合50%
 *地域開発と観光の学部を2023年に開設
 *大分県の人口当たりの留学生割合は全国一位

◎九州大学 *8人に1人は留学生
 ◎福岡女子大学
 *学生の約8割が卒業までに留学を経験
 *初年次は全員が学生寮で留学生と共に生活

■地域資源(農産物)に対する知見と地域貢献意識の醸造
 ◎熊本県立八代農業高等学校(JAやつしろとのコラボスイーツ/もち米)
 ◎熊本県立八代東高等学校(ローソンとのコラボスイーツ/晩白柚)

■地域遺産の保護および地域資源に対する研究・教育
 ◎別府大学(文化財保護のネットワーク形成)
 ◎京都大学 地球熱学研究施設(火山、地熱、温泉の研究及び教育)

【スポーツ文化】

■定期的国際イベントによるリピーター確保および知名度の向上
 ◎別府大分毎日マラソン(別府市/毎年2月)
 ◎九州国際スリーデーズマーチ(八代市/毎年5月)
 *世界各地対象の国際マーチングリーグに登録されており、対象の大会を完歩すると表彰が受けられる(専用バスタブあり)
 ◎福岡国際マラソン(福岡市/毎年12月)
 *世界のトップランナーが集まるワールドアスレチック公認の男子フルマラソン大会

■地域の特性を活かした観光スポーツイベントの開催
 ◎人吉温泉春風マラソン(人吉市/毎年2月)
 *「RUN×温泉×郷土料理」
 ・「人吉盆地」と「球磨川」沿いのコース景観
 ・競技後に郷土料理「つぼん汁」や「ぜんざい」「赤飯」のおもてなし
 ・参加者は温泉無料

■プロスポーツによる地域の国際的知名度向上
 ◎福岡ソフトバンクホークス(野球) ◎大分トリニータ(サッカー)
 ◎ラグビーワールドカップ2019での国際チームキャンプ後の1周年イベントの開催等レガシーの継続

【レジャー・テーマパーク・宿泊施設等】

■地域の自然を生かしたレジャー
 ◎別府温泉保養ランド→世界で唯一の地下から湧く鉱泥の湯
 ◎球磨川ラフティング→日本三大急流・日本最南端のラフティングスポット
 ◎五木村バンジー→高さ66mから日本の清流トップ3の川辺川へバジャン

■施設に付加価値を加え魅力・話題性を向上
 ◎城島高原パーク(ジュビター)
 →日本初の本製アイス。6万本の松で組み上げられた壮大な造形美も魅力

■地域色を前面に押し出して特色のあるコンテンツとして発信
 ◎HKT48(博多拠点アイドルグループ) ◎福岡吉本(お笑い芸人)

■富裕層の長期滞在に対応可能な宿泊施設の整備
 ◎インターコンチネンタル別府(5つ星ホテル/別府市)